

表 令和 6 年 4 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報 第 28～36 号	1 日、5 日、8 日、12 日、15 日、19 日、22 日、 26 日、29 日 16 時 00 分	噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴 火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。 昭和火口では噴火及び火映は観測されて いない。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放 出量（2 日、12 日、22 日）は、1700、4300、 1800 トン/日で、やや多い～非常に多い。 火山性地震、微動の発生状況。 GNSS 連続観測では、島内の一部の基線で 2023 年 1 月頃から山体膨張とみられるわ ずかな伸びが認められたが、同年 4 月頃 から停滞。始良カルデラ（鹿児島湾奥部） を挟む基線では、長期にわたり地下深部 の膨張を示す緩やかな伸びがみられる。 始良カルデラ地下深部にマグマが蓄積し た状態で、火山ガス放出量も概ね多いこ とから、今後噴火活動が再び活発化する と考えられる。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から 1 時間以内に予想される、 降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から 6 時間先まで（1 時間ごと） に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 28～31 号	1 日、5 日、8 日、12 日 16 時 00 分	火口付近浅部の地震活動はやや活発で、 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量や古岳の 地熱活動は 2023 年 6 月からの活動以前 の状態より高まった状態で推移。新岳火 口及び古岳火口の周辺に影響を及ぼす程 度の噴火が発生する可能性がある。
		解説情報(臨時) 第 32 号	13 日 02 時 50 分	GNSS 連続観測により古岳付近の膨張が維 持されている中で、4 月に入り主に古岳 火口付近浅部で火山性地震が多い状態で 継続。火山活動が高まりつつある。新岳火 口及び古岳火口の周辺に影響を及ぼす噴 火が発生する可能性があります。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 火口周辺規制)	火口周辺警報	13 日 12 時 35 分	4 月に入り主に古岳火口付近浅部で火山 性地震が多い状態で経過。GNSS 連続観測 で古岳付近の膨張は現在も維持されてい る。新岳火口及び古岳火口から概ね 2 km の範囲、及び向江浜地区から新岳の南西 にかけての火口から海岸までの範囲に影 響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。
		解説情報 第 33～39 号	13 日 13 時 00 分 14 日、15 日、19 日、22 日 16 時 00 分 26 日 16 時 15 分 29 日 16 時 10 分	4 月に入り主に古岳火口付近浅部で火山 性地震が多い状態で振幅のやや大きな火 山性地震も発生。26 日以降は概ね多い状 態。新岳付近の火山性地震は少ない状態。 古岳及び新岳火口で白色噴煙を観測。火 山ガス（二酸化硫黄）放出量は 14 日は 300 トン/日と増加してやや多い状態。 GNSS 観測で、2023 年 11 月頃にかけてみ られた古岳付近の膨張を示す変動で膨張 した状態が維持されている。 火口付近浅部の地震活動はやや活発で、 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量や古岳の 地熱活動は 2023 年 6 月からの活動以前 の状態より高まった状態で推移。新岳火 口及び古岳火口の周辺において噴火が発 生する可能性がある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 27～35 号	1 日、5 日、8 日、12 日、15 日、19 日、22 日、 26 日、29 日 16 時 00 分	10 日の上空からの観測の状況。火山性地 震は、昨年 7 月下旬以降、概ね少ない状 態で経過していたが、4 月中旬以降増加。山 体の西側での膨張を示すと考えられる地 殻変動は、11 月頃から停滞。火山ガス（二 酸化硫黄）放出量は 11 月下旬以降、500 トン/日前後で推移。

令和6年4月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第15～17号	5日、12日、19日 16時00分	現地調査による火山ガス(二酸化硫黄)放出量(1日、10日、16日)は1300、1400、1000トン/日でやや多い状態。 GNSS連続観測で、2023年12月頃から草千里を挟む基線及び広域の基線において伸びの傾向が認められたが、1月下旬以降は停滞。夜間に高感度の監視カメラで火映を観測。 火山性微動の振幅は1日以降やや大きい状態から23日頃以降は小さい状態。火山性地震は少なく、孤立型微動はやや多い状態。
		噴火予報	26日 11時00分	火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は減少し、GNSS観測の草千里を挟む基線の伸び傾向は1月下旬以降は停滞。中岳第一火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低下。
	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第18号	26日 11時10分	火山ガス(二酸化硫黄)放出量は3月から減少、3月下旬から1500トン/日を下回る状態。GNSS連続観測で草千里を挟む基線の伸び傾向は、1月下旬以降は停滞。現地調査で中岳第一火口底の湯だまり内で噴湯及び土砂噴出は認められない。火山性微動の振幅は、3月下旬以降は概ね小さい。火山活動が低下していることから、中岳第一火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなった。 火山ガス(二酸化硫黄)放出量はやや多い状態、南側火口壁では、2023年12月から地熱域の拡大と温度の上昇が認められ、火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性がある。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～18号	1日、8日、15日、22日 16時00分 29日 16時10分	火山性地震は少ない状態。火山性微動はなし。噴煙、火映、地殻変動等の火山活動の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第20～24号	1日、8日、15日、22日 16時00分 29日 16時10分	噴火活動が継続。爆発及び大きな噴石の飛散はなし。噴煙、火映の状況。集落周辺での降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。GNSSでは、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の増加を示す変動は認められない。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 浅間山、阿蘇山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。阿蘇山は26日08時で発表を停止した。